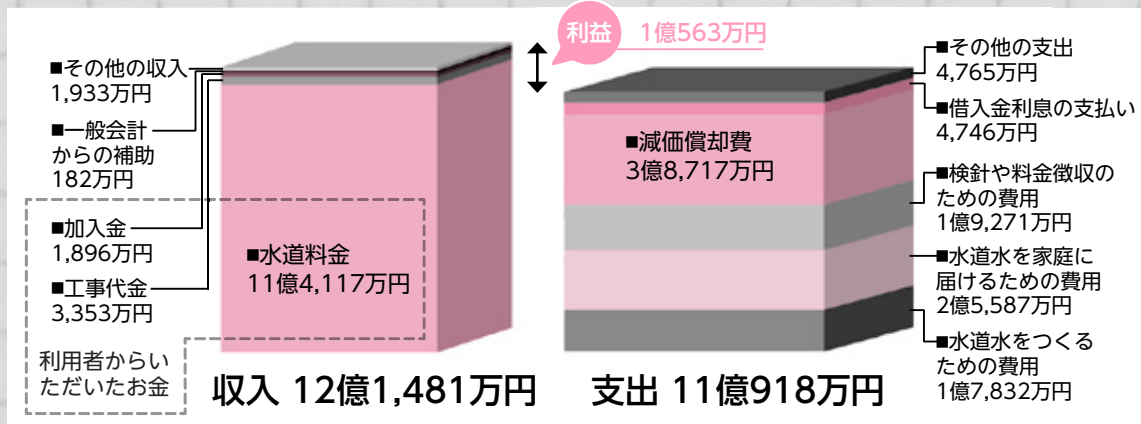


## 平成25年度水道事業会計の決算状況をお知らせします

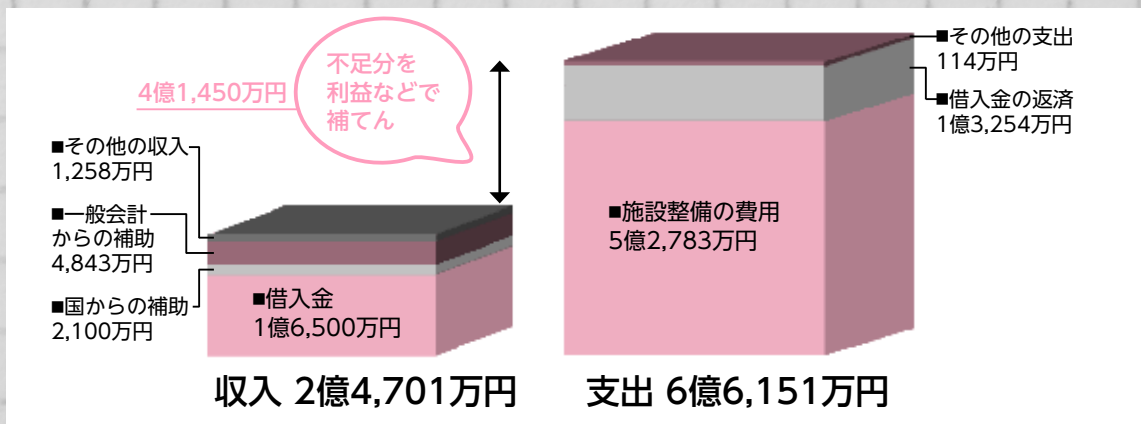
水道事業会計は、地方公営企業法に基づき一般会計などの現金の移動による単式簿記ではなく、民間企業と同様に価値の発生や消費の時点で経理する発生主義の複式簿記を採用しています。

### ■ 収益的収支 …… 日々の営業活動の収支(民間企業の決算状況と同様のもの)



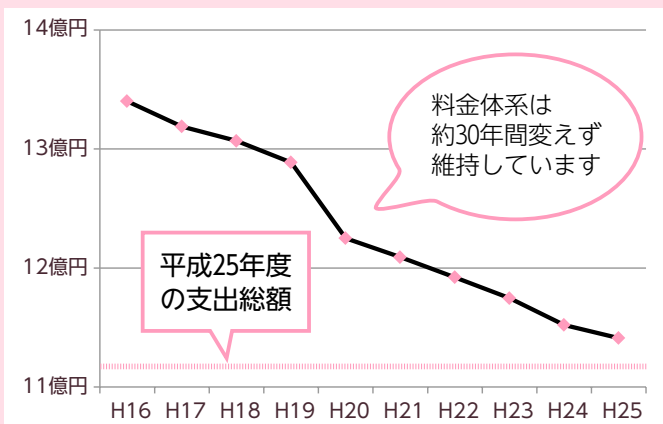
収入の総額12億1,481万円に対し支出は11億918万円。1億563万円の利益を計上しました。

### ■ 資本的収支 …… 施設整備などで、効果が翌年度以降に収益的収支に発生するものの収支



収入総額2億4,701万円に対して支出総額は6億6,151万円となり、不足した4億1,450万円は利益や減価償却費などの営業活動から得た資金で補てんしました。

### ■ 過去10年の水道料金収入の推移



**業** 務効率化や職員削減など経営改革の成果などにより黒字を確保しました。

まとめ

しかしながら、人口減少などの影響で料金収入は左表のとおり年々減少しており、数年後には支出総額のラインに均衡することが想定されます。収支悪化への対策や水道施設の耐震化などに必要な資金の確保が今後の大きな課題となりますが、その解決に向けて、より一層の改革に取り組んでいきます。